

舞妓宿舎にてご飯を食べながら  
3人で談笑中、京都米を褒めだす



舞妓1「京都米はん、ほんま綺麗やなあ〜」

もう一人も褒めだす



舞妓2「ほんまほんま、  
しろーてツヤツヤしてはるわあ〜」

謙虚そうに照れる京都米



京都米「いやわあ〜みなはん、  
褒め過ぎどう〜」

勢いよく部屋の襦が開く



SE ザッと勢い良く襦の開く音

見下しながら罵倒する



赤飯「調子にのるんやおまへんでえ!!!」

よよよ・・・と倒れながらあせる



京都米「おっ、お赤飯・・・!？」